

ヒートグリップ Type-R0LL2（巻き付けタイプ）取扱説明書

製品番号 05-12-0008

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店に
ご相談下さい。

適用条件	汎用	USB TYPE-C ポート付 (PD 対応 18W ~ MAX30W)
		モバイルバッテリー (PD 対応 18W ~ MAX30W)
		12V 1.5A 以上
		※ USB TYPE-C であっても 5V には対応していません。

対応グリップ	グリップ幅（全長）	グリップ直径
	100mm 以上	約Φ 35mm ~ Φ 32mm

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。
（説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。）
- ◎この取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。
取り付けに自信の無い方や、取り付けに必要な工具等をお持ちで無い場合は取り付け作業は行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。
- ◎バッテリー保護の為、ACC の状態で長時間の操作は控え、エンジン始動後に操作して下さい。
- ◎当製品は USB TYPE-C (PD 対応で 18W ~ 30W 迄) の USB ポートへの使用出来、この範囲以外では使用出来ません。又 USB TYPE-C であっても 5V には対応していません。USB ポートの要領を把握した上でご使用下さい。
- ◎モバイルバッテリーでの使用時間目安：10000mA/h MAX レベル（赤色 LED）約 1.1h Low レベル（青色 LED）約 2.5h（使用環境やバッテリーの劣化状態に変化します。）
- ◎ヒートグリップの熱線は走行風が直接当たると温度が下がる傾向にあります。弊社製ナックルガードやハンドルカバーを同時装着する事で温度低下の対策になります。
- ◎ご使用のグリップ径によっては、取り付け出来ない場合がございます。
- ◎USB プラグは、防水設計ではありません。

～特 徴～

- USB TYPE-C (PD 対応) の為、高効率にグリップを暖かくする事が可能になりました。
 - 電源オンするとウォーミングアップモードになり高出力の電流を流し数分後に設定したレベルの温度に自動調整する機能があります。
 - 薄く断線しにくい熱線フィルムヒーターを採用。グリップ幅 100mm から対応。
 - 簡単に取り付け出来る巻き付けタイプを採用。又 USB ポートに差し込むだけで使用出来ます。
 - 温度調整は 5 段階でスイッチを押すだけの簡単操作。
 - スイッチにはメモリー機能が搭載されており、電源立ち上げ時には最後使用していた状態で起動する事が出来ます。
 - ヒーターグリップ部表面には滑り止めがプリントしている為しっかりとグリップする様になっています。
 - モバイルバッテリーを別途購入する事で幅広い用途で使用する事が可能になります。
- 対応例・自転車・電動バイク・トライク、フィッシング等で使用可能でジャンルに囚われる事なくいろいろなシーンで活躍出来ます。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 取り付け前にバッテリーの状態を確認して下さい。車両バッテリーの電圧が低い場合は充電、交換、または車両点検を行って下さい。
- 長時間アイドリング状態を続ける事を避けて下さい。（バッテリーの電圧が下がりがトラブルの原因となります。）
- お使いの車種によっては充電不足となる場合がございます。使用前に販売店と相談して下さい。（車種によってはトラブルの原因となります。）
- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）
- 長時間のご使用は火傷を負う可能性がございます。厚めのグローブを使用する等の対策を行って下さい。（火傷の原因となります。）

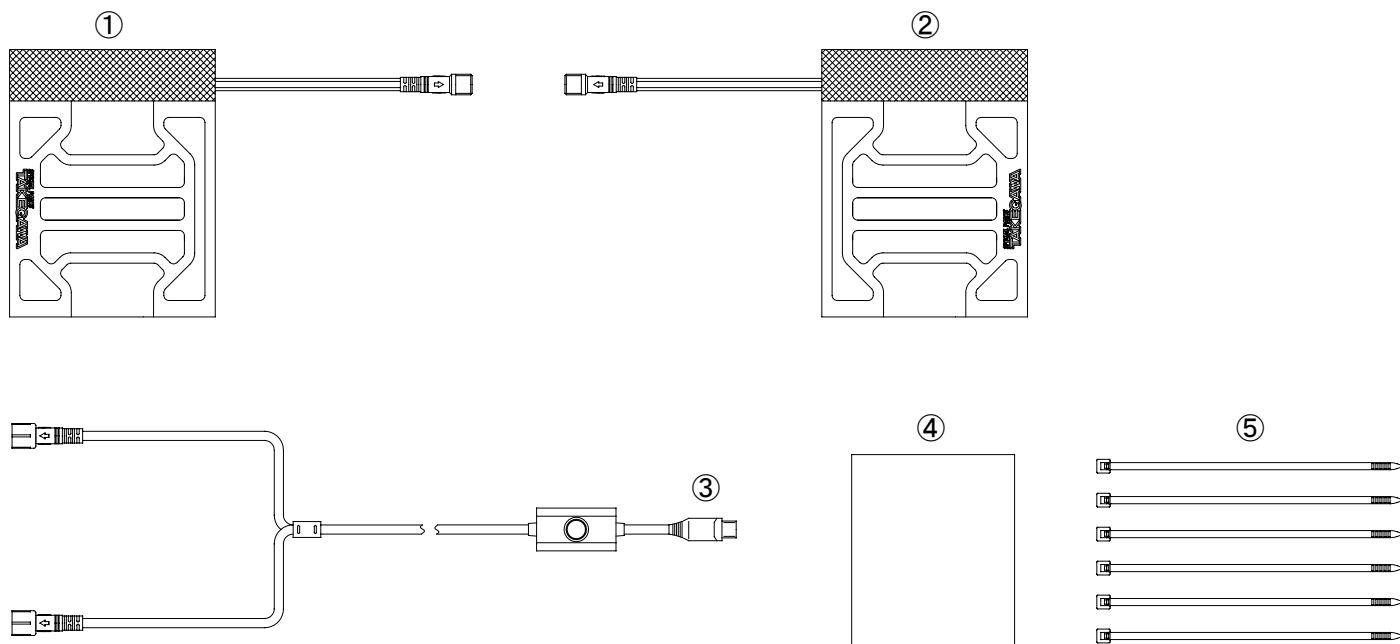
警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術・知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。（部品破損等の原因により、転倒・事故につながる恐れがあります。）
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）
- エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラーは高温になっています。近くにガソリン等の危険物や燃えやすい物を絶対置かないで下さい。（火災につながる恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>



番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	ヒーターグリップシート (TYPE-C 用)	1	00-05-0426
2	ヒーターグリップシート (TYPE-C 用)	1	00-05-0427
3	ヒートグリップ USB ハーネス (TYPE-C 用)	1	00-05-0409
4	両面テープ	1	00-00-0688 (4 ケ入り)
5	結束バンド 200mm (ブラック)	6	00-00-0295 (10 ケ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

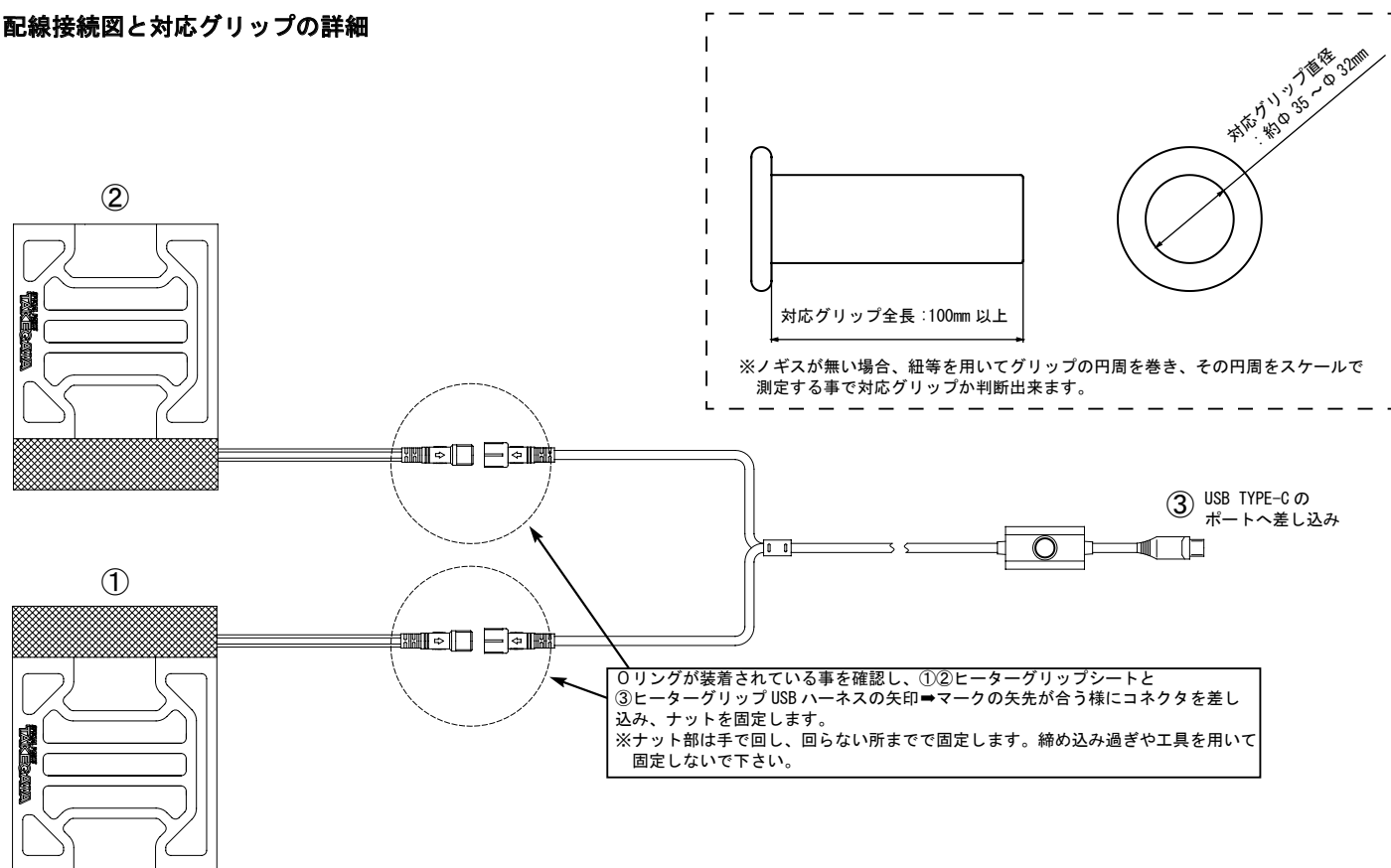
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませ
お願い致します。

※⑤のリペア品は付属品に比べ、長さ若干太さが異なります。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

配線接続図と対応グリップの詳細



○取り付ける面を清掃し油分がない状態にします。

TAKEGAWA ロゴがパーエンド側へ来る様にし

①、②ヒーターグリップシートを配置し縫い付けされている面ファスナー部を合わせます。

※この時にしっかりグリップに密着する事でヒーターグリップが周りにくくなります。

※グリップ本体の材質及び形状によりヒーターグリップが回転してしまう場合、

④両面テープを適切な長さにカットし、グリップとヒーターグリップの間に張り付ける事で回りにくくなります。

○配線接続図を参考に①、②ヒーターグリップと③ヒートグリップ USB ハーネスの接続部の矢印部が合う状態で接続し、手でナットを回し固定します。

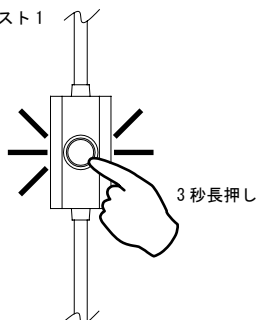
※工具等で締め込まないで下さい。破損の原因になります。

○ハンドルを切ったり、アクセル操作で配線を挟まない様な取り回しにし、必要に応じて⑤結束バンドで固定し、配線接続図を参考に③ヒートグリップ USB ハーネス先端の USB をポートに差し込みます。

●操作説明

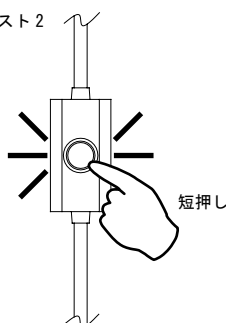
○メインキー ON にします。イラスト 1 の様にボタンを長押し（約 3 秒）するとヒートグリップの電源 ON 出来、再度ボタンを長押し（約 3 秒）すると電源 OFF する事が可能です。

イラスト 1



○ヒートグリップの電源 ON 時にイラスト 2 の様にボタンを短押しするとヒートグリップのレベル変更を行う事が出来ます。

イラスト 2



各レベル表示
レベル 5 赤色
レベル 4 橙色
レベル 3 黄色
レベル 2 緑色
レベル 1 青色

※レベル 5 (赤色 LED) が、一番温度上昇します。
※使用したレベルは内部メモリーで記録します。但し③内部でメモリーしたレベルは、ヒートグリップ USB ハーネスの電源をオンにして約 3 分間はどのレベルになってもウォーミングアップモードの為、各レベルの通常時より多い電流を流し温めます。

※ウォーミングアップモードは約 3 分間作動します。

すぐに通常レベルにしたい場合は、ボタンを短押しで希望のレベルに移行しご使用下さい。

▲ 注意：長期間のご使用は火傷を負う可能性があります。厚めのグローブを使用する等の対策を行って下さい。

※バッテリー容量、発電量が少ない車両では、正常にヒーターの温度が上がらない、バッテリー上がり等のトラブルが発生する場合があります。長時間アイドリング時はヒーターを使用しない。出来るだけ低いヒートレベルで使用する。等の対策を行って下さい。

○最新の適合情報は弊社ホームページにてご確認ください。



●トラブルシューティング

◎ LED インジケーターが点灯しない。

○ USB ポートに電圧が来ているか確認して下さい。PD 対応か確認して下さい。

○スイッチを 3 秒長押しして電源を入れて下さい。

◎ ヒートグリップが温まらない。

○ USB から出力が問題ないか確認して下さい。

出力が足りない場合、発熱量が不足し本来の性能を発揮出来ません。

○ヒートグリップシートのコネクタ部の端子間にテスターを当て抵抗値を測定します。

正常であれば約 11 Ω ~ 13 Ω です。

◎ USB スwitch のレベル 5 (赤色) でもあまり暖かくない。

○電源の供給が問題ないか確認して下さい。

供給が問題無い場合、走行風で電熱線自体を冷却している可能性があります。

ヒートグリップシート本体の熱線が入っている箇所（マジックテープ部は熱線が入っていません。）を回転させ熱線がより走行風に当たりにくく配置する事で対策になります。又、走行風からの影響を軽減する上で弊社製ナックルガードやハンドルカバーを装着する事で対策になります。

◎ ヒートグリップが回転してしまう。

○グリップ側の材質及び形状によっては回ってしまう可能性があります。

その場合は付属の両面テープをご使用下さい。

